



と市政に参加する 1000人の会NEWS

発行 吉野信次と市政に参加する1000人の会

住所 松戸市新松戸3-137松栄ビル3階 松戸住民ひろば内

電話・ファックス 047-349-2132 E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp

郵便振替口座 00130-0-76000 http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo/

市長選 また、出直そう！

行政をチェックできる市議選に！

▼ 有権者の「3分の1」の投票

6月18日投票の松戸市長選は、投票率が34.44%と低投票率の中で、現職市長の勝利となりました。

| | 得票数 | 得票率 | 推薦 |
|---------|--------|-------|----------------------|
| 川井 敏久 | 59,734 | 46.6% | 自民・公明 |
| 本郷谷 けんじ | 45,333 | 35.4% | 多くの市民団体 民主・共産・新社会 |
| 中田 京 | 15,433 | 12.0% | - |
| 林 千勝 | 7,612 | 6.0% | - |

▼ 市政を変える大きな第一歩に！

本郷谷けんじ候補の市長選は、これまでの市長選とは大きく変わったネットワークで戦われました。特に、市民団体が架け橋となって、民主党、日本共産党、新社会党の連携を実現させ、「みんなが市長の会」として、これまでに経験したことがない多様な取り組みで市民に訴えができました。

川井陣営は、過去にない危機感を持って組織のたがを引き締め、「絶対に許せません！水と油の市政はごめん 共産党 民主党の市政はNO！」(法定ビラ)との政策抜きの攻撃を煽り立てました。



市長選・本郷谷けんじ市長候補を
松戸駅東口で応援

「川井市長 4期16年はゴメン！」「東葛一番低い市民サービス こんな市長は交代だ！」と市民の連携が拡大し、市政を変えられる寸前まで川井市長を追いつめることができました。

市民不在の市政から、市民が主役の市政に転換できる希望が生まれました。「また、出直そう！」と4年間を見据えた市民の取り組みが始まり出しています。



▼ 敗北の要因と今後の課題は？

戦後60年間続いてきた保守・自民党市政の組織力を総動員した厚い壁と市長派の反共攻撃の中で、投票率を高めることができませんでした。また、市長を変えたいと考えた多くの市民から、反川井派の1本化が強く求められました。「e 市政を創る松戸市民の会」での予備選挙で敗北した中田 京氏が、予備選を無視して立候補したことが反市長派の乱立となりました。得票率を見れば、反川井派の得票率が上まっていただけに、この1本化の失敗が大きな痛手となりました。次期市長選では「1対1の勝負」に持ち込むことの努力を市民の力でつくりだしていきたいと思います。

▼ 行政をチェックできる市議選に！

松戸市議会議員選挙は、11月19日投票です。この4年間、行政をきびしくチェックできる市議会をつくるのが大きな課題となります。市長・行政に「ただ賛成」するだけの議員を議会に送らないことです。市民・主権者の目線で、議会改革ができる議員を多数議会に送りましょう。

6月議会は、市長選のために半月遅れで6月23日から7月10日まで開催されました。一般質問には、27人が立ち、吉野は6月26日(月) 2番手で3つの質問をしました。

低い投票率と市民参加のまちづくり

▼松戸市長選、何故低い投票率？

質問: ①投票率引き上げの具体策は。②投票率向上に向けた検討委員会など市独自の特別対策は。

選管委員長: ①これまでの選挙と同じく、可能な限りの取り組みを実施したが、投票率は34.44%と前回(35.65%)より下回った。②都市部自治体における低投票率問題は、松戸市だけの問題ではない。松戸市独自の投票率向上の対策は今のところ考えていない。

▼選挙結果全般の評価は？

質問: 市長選全般の評価について、どのように見ているか。

市長: 3期12年間の実績が市民に評価され当選できた。私の得票率も46.61%と前回の44.17%を上回った。今後4年間の私の信任・付託になったと確信している。ある陣営から選挙戦を通じて、私の3期12年間の実績に、まったく何もしてこなかったという攻撃が執拗にされたが、誠に遺憾だ。

評価: 「3期12年間何もしなかった」という攻撃は不当だと、何回も指摘していましたが、行政サービスを東葛6市で比較しても、最低のサービス状況を考えれば、市長の市政運営は市民生活の向上につながっていません。今後4年間、「確信を持って実施する施策」をしっかりと検証し、市民参加の市政に逆行する施策には、厳しい批判と市民からの提案を必ずしていきたいと思います。

▼改正介護保険制度への対応は？

質問: 介護保険料の県内5市(千葉市、船橋市、市川市、柏市、松戸市)の値上げ状況は。

社会福祉担当部長: 基準額では、松戸市は、2,820円が3,840円に、千葉市は、3,100円が3,780円に、船橋市は、3,000円が3,700円に、市川市は、3,140円が3,700円に、柏市は、2,800円が3,560円となった。

質問: ①市民周知は、どのようにされたか。②新予防給付に関して、予防プランと予防サービスの状況



議会の窓



6月議会
一般質問

は。③地域包括支援センターの状況は。④地域密着型サービスの施設状況は。

社会福祉担当部長: ①市民会議の開催、「広報まつど」、「介護保険のしおり」、利用者訪問などで対処してきた。②新たな要支援1・2の認定者524人のうち、277人のケアプランは作成し、すでに予防サービスが利用されている。③市内1ヶ所で、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3職種・14名を配置して、取り組んでいる。④6種類のサービスがあるが、それぞれ事業者からの希望があり、整備が進んでいる。

評価: 大幅な改定にもかかわらず、国がはなはだしい準備不足のまま見切り発車をしたために、自治体と事業所では大混乱が続いています。松戸市の介護保険料は、県内5市でも、東葛6市の中でも一番高い保険料となっています。保険料に見合う介護サービスが受けられるのか、市民からの検証が求められます。

「松戸市警」に恐怖しさを感じませんか？

川井市長が選挙公約として掲げた松戸版市警の創設。そのネーミングに恐怖しさを感じた市民は私一人ではないだろう。6月議会でも多くの議員が松戸版市警について質問している。それに対する答弁は、「犯罪予防・啓発を主眼とし、防犯組織のネットワーク作り、既存事業の見直し、新規事業の検討などが考えられるが、若手職員によるプロジェクトチームを作り、来年4月実現に向け検討させていきたい。子どもを犯罪から守るという一点でスタートさせたい」というものであった。

現在、各地域で保護者や地域住民の協力によるパトロールが取り組まれている。しかし、犯罪にあうのは子どもたちが一人になった時。毎日毎日、ずっときめ細かいパトロールを行うとしたら、保護者や地域住民の負担はかなり大きなものになる。また、地域内の住民相互の監視体制が強まり、地域が息苦しいものになりはしないか。異質な住民を排除する風潮を強めないか。私はそうした危惧を抱いているが、松戸版市民警察を恐ろしいと感じるのも同様の理由からである。

子どもたち一人ひとりの安全を見守る地域づくりのために、地域の人たち皆が顔見知りになるような交流の場をつくること。地域の子どもの取り巻く環境の問題点を皆で共有すること。そして、その解決のために何ができるかを皆で話し合うこと。こうした地域づくりこそが、今大切なのではないかと。(上矢切・浅井ゆき)

洪水ハザードマップ「青と赤」だらけの

常磐線西側危険地域の対策は

常磐線西側地域（新松戸、西馬橋、栄町、古ヶ崎等々）にお住まいの方は、この情報に注目ください！

▼ 江戸川の堤防が決壊したら？

質問:5月15日に配布された「洪水ハザードマップ」には、「江戸川の堤防が壊れ、氾濫した水があなたの家を襲ったら…！」とのショッキングな情報が掲載されたが、決壊したらどうなるのか。

総務企画本部長:200年に1回の確率の大雨・豪雨は、戦後では1947年のカスリーン台風(1947.9.16)に相当する。3日間の総雨量が318mmの場合を想定。カスリーン台風は、利根川と渡良瀬川の堤防を各400mにわたり決壊させ、埼玉県東部地域から東京都東部地域を水没させた。氾濫面積440km²、浸水域内人口約60万人、家屋浸水戸数303,160戸、死者1,100人、負傷者2,420人、被害額70億円となった。現在、カスリーン台風と同等の台風や洪水により利根川が決壊したら、氾濫面積約530km²、浸水域内人口約232万人、被害額約34兆円を想定している。ハザードマップでは、常磐線西側地域が、江戸川が決壊した時は真っ青(2〜5mの水没)に、大地震が発生した時の液状化では、真っ赤になっている。

▼ 江戸川右岸だけをなぜ改修？

質問:何故、江戸川右岸の堤防だけが改修されたのか。

総務企画本部長:国土交通省では、江戸川が氾濫、堤防が決壊した場合、人口・資産が集中し、様々な中枢機能が集積する右岸側(東京側)を、先行的に取り組んできた。1958年から江戸川沿いの13自治体で「江戸川改修促進期成同盟」を結成し、国に働きかけてきている。最近では左岸堤防の早期着工について強く要請している

▼ 地域防災計画に江戸川の堤防決壊と避難計画がない？

質問:地域防災計画には、江戸川の堤防破壊の想定と避難計画が明記されていない。どのような避難計画を今後検討していくのか。高層マンション等の自主防災組織への働きかけは。

総務企画本部長:洪水予報では、「警戒水位」「特別警戒水位」「危険水位」によって、避難準備、避難勧告、避難指示の情報を知らせる。水位の上昇が松戸市に達するまでには十分な時間があるので、一連の避難情報を住民にお知

らせし、避難を要する事態になったら、市職員等が常磐線の東側に誘導する対応をはかる。万一逃げ遅れた住民は、最寄りの避難施設(地域内の26施設)3階以上の階に避難していただく。今後、自主防災組織に働きかけていく。地域防災計画には、この想定が入っていないので、順次、見直しをはかっていく。

総合評価:200年に1回の確率？いつ発生するかわからない大洪水？何故、国交省が情報を公開し、江戸川堤防の決壊を打ち出したのか。近い将来に、このような想定ができるからこそ、自治体に公表させている。常磐線西側に住む住民は、行政にこの想定を前提とした地域防災計画を作らせ、避難訓練を実施しておくことが重要だと思います。



▼ 議会最終日、全会一致で以下の決議がされました。

北朝鮮によるミサイル発射に関する決議

平成18年7月5日未明から、北朝鮮によるミサイルの発射が行われ、世界を震撼させた。このような北朝鮮の行為は、我が国の平和と安全保障はもとより、国際社会の安定の観点からも極めて遺憾であり、到底看過できるものではない。

よって、本市議会は、北朝鮮に対し国際社会と協調し、二度とこのようなことを起こさないよう厳重に抗議し、ここに決議する。

千葉県松戸市議会

松戸市議会 9月定例会の予定

- ▼ 8/23(水)
- ▼ 9/1(金)
- ▼ 9/4(月)~7(木)
- ▼ 9/11(月)
- ▼ 9/12(火)
- ▼ 9/13(水)
- ▼ 9/14(木)
- ▼ 9/15(金)~21(木)
- ▼ 9/25(月)

請願・陳情提出期限(正午)
定例会召集日
本会議(一般質問)
常任委員会(総務財務)
常任委員会(健康福祉)
常任委員会(教育経済)
常任委員会(都市整備)
決算審査特別委員会
本会議(最終日)

市民力が試される旧3校の跡地問題

◆市民無視の誤りを繰り返すな！

小学校 3 校(根木内東、新松戸北、古ヶ崎南)が廃校されて1年4ヶ月、今だ廃校の跡地計画が示されていません。6月議会的一般質問の中で、行政が考え出している全体的な構想が見えだしました。

答弁では、旧根木内小は市庁舎機能も含めた施設に、旧新松戸北小は新松戸北中と一体で考え、複合施設を、旧根木内東小は社会教育機能を持った施設を検討しているとのことでした。

昨年から、3 本部(総務企画、財政、生涯学習)で構成された学校跡地検討委員会での検討が始められ、3 月末には「報告書」がまとめられています。答弁では、この「報告書」案を、まちづくりの観点から、担当部署の参加による専門スタッフ会議(まだ名称なし)で検討し、議会や市民に提案するとのこと。行政が考える「完成案」を、市民に強制するような、統廃合過程の誤りを、再びくり替えさせてはならないと思います。

◆市民の提案能力が問われる！

川井市政は、「市民参加」「パートナーシップ」を標榜しますが、その中身はリップサービスだけで(バリアフリーのまちづくりなどでは、市民参加が始められている)、行政の考えを強制し、認めさせるだけです。この旧 3 校の跡地問題を巡る市民参加は、川井市政にとっても、市民にとっても、その真価が問われます。

市民力が問われるこの跡地問題にあたっては、各地で跡地問題を考える市民の動きをつくりだすことだと思います。旧 3 校がある地域で、主体的な市民が「跡地問題を考える会」をつくり、3 者のネットワークで連携し、行政と対応していくことが望ましいと思います。さあ、後手にならない行動を起こしましょう。

◆旧新松戸北小の跡地問題を考える集いへ！

旧新松戸北小の跡地問題を考える集いの呼びかけが始められています。公的施設の少ない地域事情を踏まえて、どのような施設を希望するか、どしどし提案してみましょう。関心のある方は、是非ご参加ください。

▼日時／7月25日(火)PM2:00～

▼場所／旧新松戸北小学校教室

▼主催／旧新松戸北小の跡地問題を考える会(仮称)

▼連絡先 桜田(Tel345-3548)、今川(Tel341-0126)

■地域住民の率直な声を！

学校統廃合の話合い

の経過で、どの地域からの跡地利用については、最初から市民の声を聞き、一緒に考えて欲しいと強い要望が出されてきた。その都度、市教委は「そうします」と約束している。それにもかかわらず、従来の手法

で、利用計画のグランドデザインをつくりあげた上で市民に説明し、理解を求めようとしている。「一生懸命やったのだから納得してくれ」と説明を繰り返し、時間切れにして強行突破してゆくやり方は、統廃合過程での同じ轍を踏みものだと思う。この 2 年間、具体的な行動に立ち上がれなかった市民サイドにも問題がある。黙して納得していくのか。市民参加の姿勢を求めていくのか、大事な岐路に立っているのではないか。

(千駄堀 小倉きよ子)



● 強制徴用、沖縄で戦死、靖国台祀一韓国の被害者の声を！

戦後 61 年、未決の「戦争責任」と「戦後補償」を追求し続ける立場から、韓国の被害者の声を聞きます。

▼日時／8月12日(土)PM1:30～

▼場所／船橋中央公民館第2集会室

▼主催／戦争責任を考える千葉8月の会

(Tel047-353-6585)

● 第20回住民塾－視覚障害の中で生きて

今回は、若くして視覚障害になられ、多感な人生を過ごしてきている内田博紀さん(35歳、理学療法士、市民団体「自主夜中」に関わる)をお招きします。

▼日時／8月20日(日)PM1:30～4:30

▼場所／松戸住民ひろば(Tel047-349-2132)

▼ゲスト／内田博紀さん(稔台在住)

● 市民の行動で国民投票案・教育基本法改悪案・共謀罪を廃案に！

秋の臨時国会で、再び出されようとしている3法案を葬り去るために、市民の共同行動が企画されています。

▼日時／8月27日(日)PM4～6

▼場所／松戸駅西口公園(D マート前)

▼主催／活かせ9条 松戸ネット(Tel365-9462)

★ ホームページをご覧ください ★
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo/>